

特定健康診査・特定保健指導の趣旨

1

- 最近の日本においては、急速な高齢化により疾病の構造に変化があり、毎日の生活様式に起因する「生活習慣病」が増加しています。
- 死亡原因の約6割、医療費総額の約3分の1を、この「生活習慣病」が占めている状況にあります。
- **【生活習慣病】**は、内臓脂肪の備蓄(内臓脂肪型肥満)が原因の場合が多く、「**肥満**」に加え、「**糖尿病**」、「**高血圧症**」、「**脂質異常**」などが重複することにより、「**心臓疾患**」、「**脳血管疾患**」などを引き起こす危険性があります。
- これに対応するため、内臓脂肪型肥満に着目し、「**メタボリックシンドローム(メタボ)**」の概念による**メタボの該当者や予備群**の方を対象に、「**運動**」、「**栄養**」、「**喫煙**」等に対する「**生活習慣病の改善**」を行うことにより、「生活習慣病」や重症化による「心臓疾患」、「脳血管疾患」などの発症リスクの低減を図ろうとするものです。
- 「生活習慣病」にならないよう、重症化しないようにする対応策です。